



作業服姿が“正装”の井部氏。「復興のため」の思いは強い

福島県南相馬市

## 株式会社井部製作所

# 雇用創出と事業拡大。 ふたつの理想を叶える進出

### 南相馬進出の決め手は市の熱意

「被災地の復興のために何かがしたかった」。被災地への進出を決めた裏には、そんな強い思いがあったと、株式会社井部製作所の代表取締役社長・井部良則氏は語る。

老朽化が進んでいた千葉県・松尾工場の建て替えを検討していた時期に東日本大震災が

発生。「復興の力になりたい」と東北に新たな拠点を作ることを決意した。

検討の末、取引先があったことや、事業拡大が見込める土地であったことから、拠点候補地は福島県に絞られた。「福島県は医療機器や航空宇宙、ロボットといった産業に力を入れている地域。当社が力を入れていきたい分野そのものだったんです」。



## ■ 企業情報

社名 株式会社井部製作所  
 業種 金属製品製造業  
 代表取締役 井部良則氏  
 所在地 本社：東京都目黒区目黒本町6-9-4  
 南相馬工場：福島県南相馬市原町区雫字蛭沢175-3  
 (下太田工業団地内)  
 TEL.0244-32-1066(南相馬工場) FAX.0244-32-1068(南相馬工場)  
 HP.http://www.ibeseisakuju.co.jp

東京都目黒区に本社、千葉県山武市松尾町に工場を構える1966年創業の精密機械部品の製造会社。主力事業は、半導体関連部品の生産で、航空宇宙、医療機器、産業機器などの関連部品の製造も行う。2017年1月に南相馬工場の操業を開始した。



福島県庁から紹介された、いくつかの候補地の中に現在拠点を構える南相馬市の工業団地があった。魅力的な土地だったものの、規模や費用面のことを考えると「GOサインを出すことはできなかった」と井部氏は当時を振り返る。

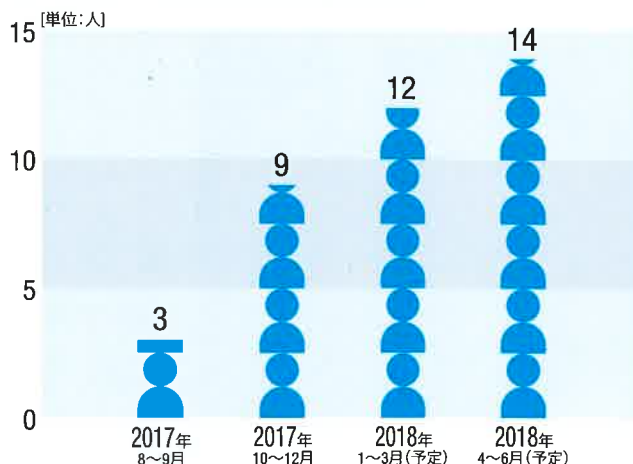
そんな井部氏を動かしたのは、「南相馬市の職員や市長の熱意だった」と言う。「何度も千葉工場まで訪ねて来てくださって、進出のメリットや、バックアップ体制について丁寧に説明していただいたんです。顔を合わせるたびに、その熱意に強く心を打たれていき、南相馬への進出を決意しました」。

## 第二工場を建てるのが夢

工場建設には、「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金」を利用した。審査は厳しく、期間も長いものだったが、無事クリア。土地や建物、設備にかかる費用に充てられる補助金が下りたことで、ネックのひとつだった初期費用を大きく抑えることに成功した。

また、「被災地の雇用創出」という思いも実を結んだ。「従業員の確保には、あまり苦労はしませんでした。ハローワークの求人募集だけで、当初目標の倍に相当する人数を雇用できたんです」。

## ■ 南相馬工場の地元新規雇用者累計



2017年1月に操業を開始した南相馬工場は、9月にはほぼ100%の稼働率を記録するまでになり、「今後も右肩上がり成長を遂げていけそう」と、井部氏は明るい表情を見せる。

近年のAI産業の盛り上がりで、同社の主力製品である半導体製造装置部品への需要は高く、航空宇宙関連部品も同様。さらに南相馬市では「ロボットテストフィールド」の建設が進み、井部製作所が主幹事業化を目指す、関連産業への事業拡大も明るい展望が見えている。

広大な南相馬工場の敷地には、まだ更地状態のスペースが存在する。「ここに第二工場を建設するのが夢なんです」と井部氏。復興のための雇用創出と事業拡大。ふたつの目標を叶えながら井部製作所は、次なるステージへ向かっていく。



南相馬工場内には生産を支える大型機械が並ぶ

今だから  
成功の舞台裏

被災地外からの進出事例

海外への挑戦事例

事業承継の成功事例

革新的スタートアップ事例